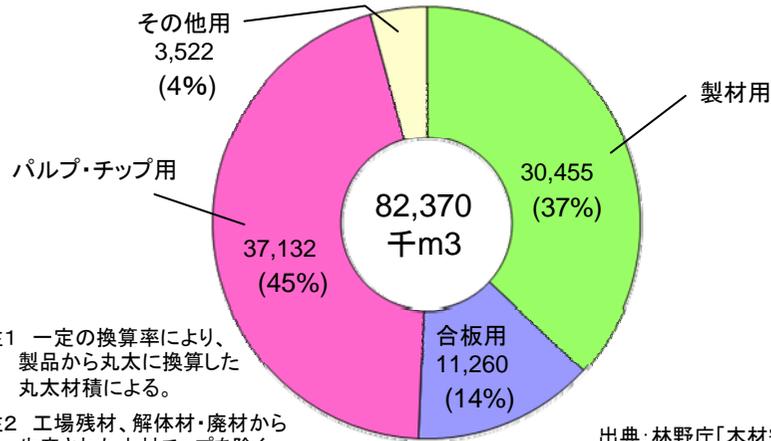


資料4

合板の需要等の現状

- 合板の需要は年間1,126万m³あり、木材の需要の中の一定の需要を確保。
- 一方、国内の合板の需要量の内訳は、構造用合板が40%、コンクリート型枠用合板が14%、その他が46%。(推計)
- 構造用合板においては、国産針葉樹材の利用が著しく伸びており、合板用素材における国産針葉樹材のシェアが高まってきている。

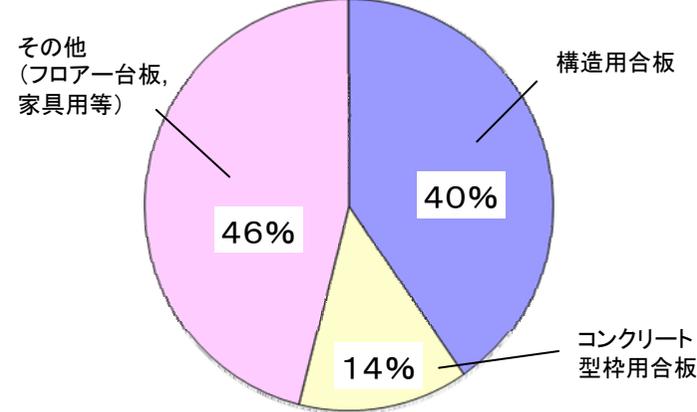
■ 木材(用材)需要における合板の需要(H19)



注1 一定の換算率により、製品から丸太に換算した丸太材積による。
注2 工場残材、解体材・廃材から生産された木材チップを除く。

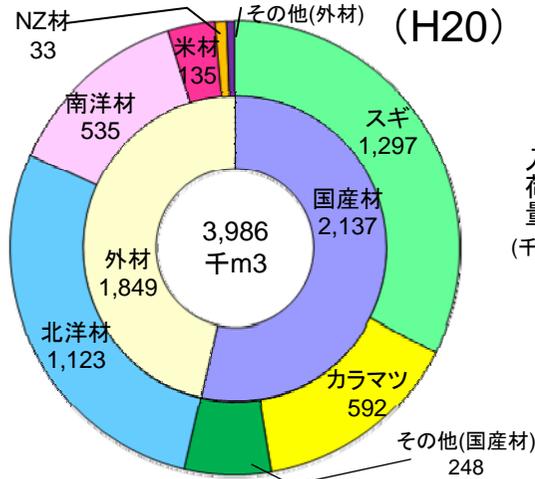
出典：林野庁「木材需給表」

■ 合板の需要の内訳(H19)



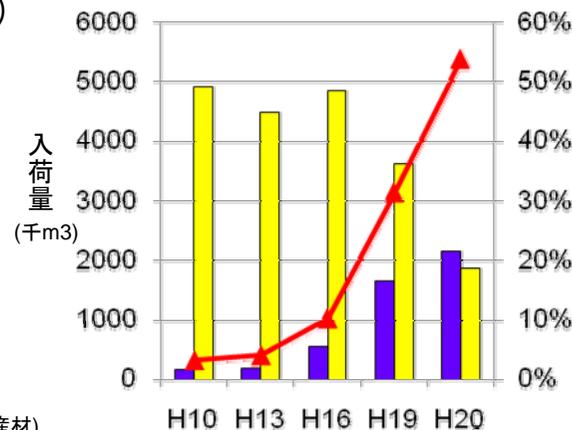
出典：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」、日本合板協同組合連合会「合板関連統計月報」及び商社資料により推計

■ 材種別合板用素材入荷量(H20)



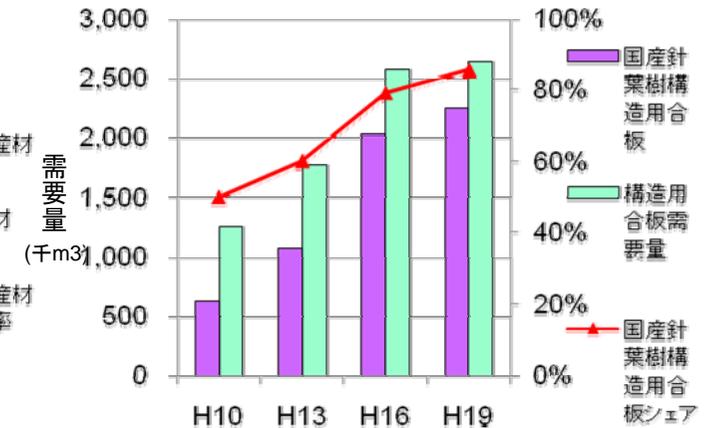
出典：農林水産省「木材統計」

■ 合板用素材入荷量の推移



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材統計」

■ 構造用合板の国産材シェア

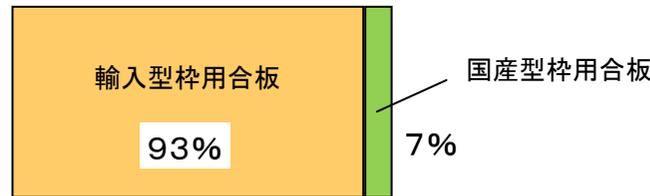


出典：農林水産省「木材需給報告書」、日本合板協同組合連合会「合板関連統計月報」及び商社資料により推計し作成

型枠用合板の現状

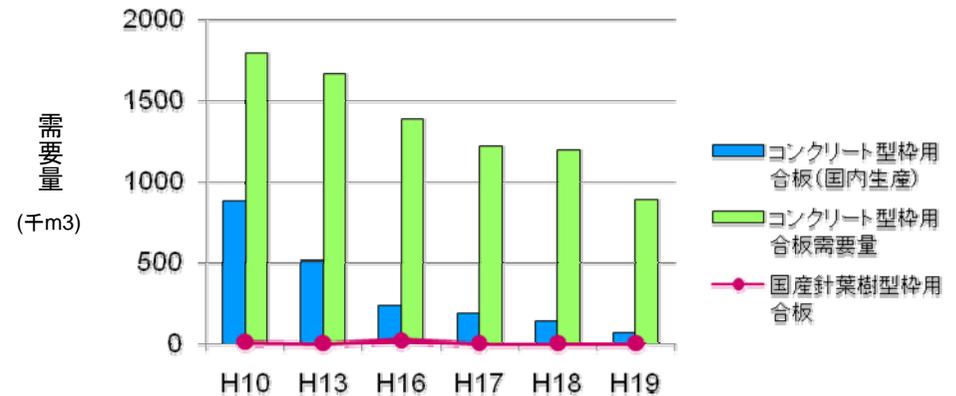
- 国内に流通するコンクリート型枠用合板では、マレーシアやインドネシアなどからの輸入型枠用合板が主体。
- 一方、外国からの合板用素材は年々減少してきており、国産材への転換が必要。
- 今後、国内のコンクリート型枠用合板の生産において、国産針葉樹材の利用を高めるため、技術的な課題を克服するとともに、ユーザーの理解も深めていく必要がある。

■コンクリート型枠用合板のシェア(H19)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、日本合板協同組合連合会「合板関連統計月報」及び商社資料により推計

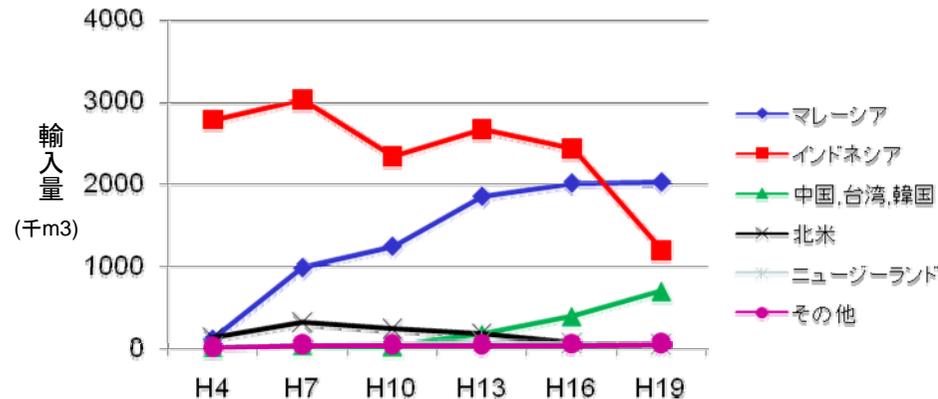
■コンクリート型枠用合板の国内生産の動向



出典：農林水産省「木材需給報告書」、日本合板協同組合連合会「合板関連統計月報」及び商社資料により作成

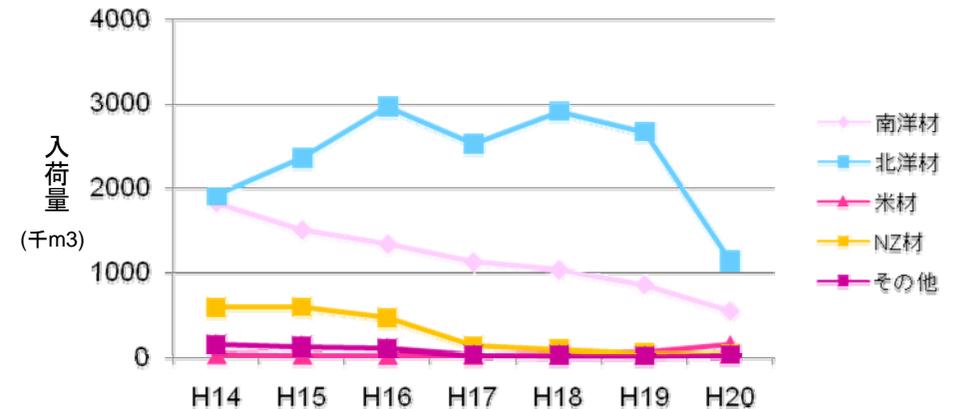
■輸入合板,外国産素材の入荷の状況

(合板輸入量)



出典：財務省「輸入統計」

(外国産素材入荷量)

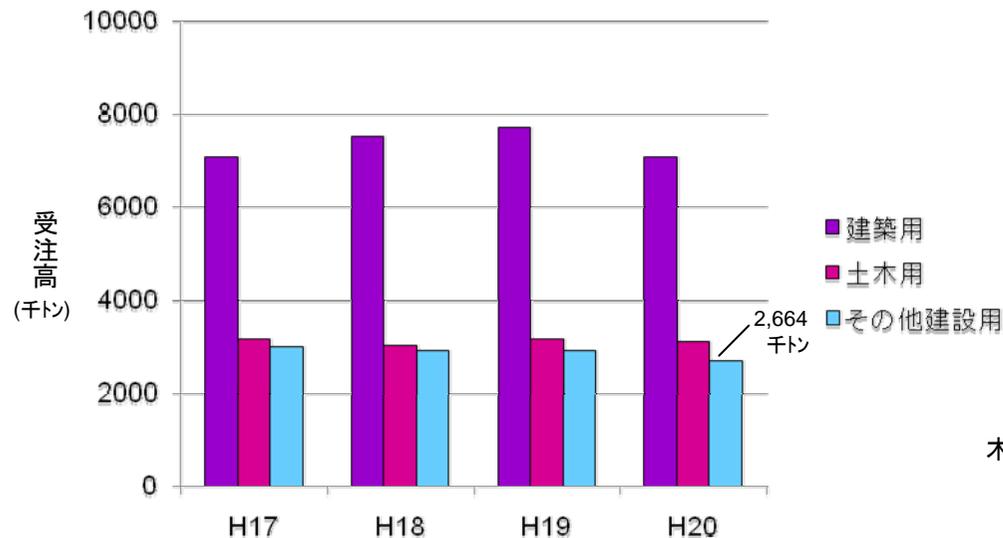


出典：農林水産省「木材統計」

非木質系型枠の需要

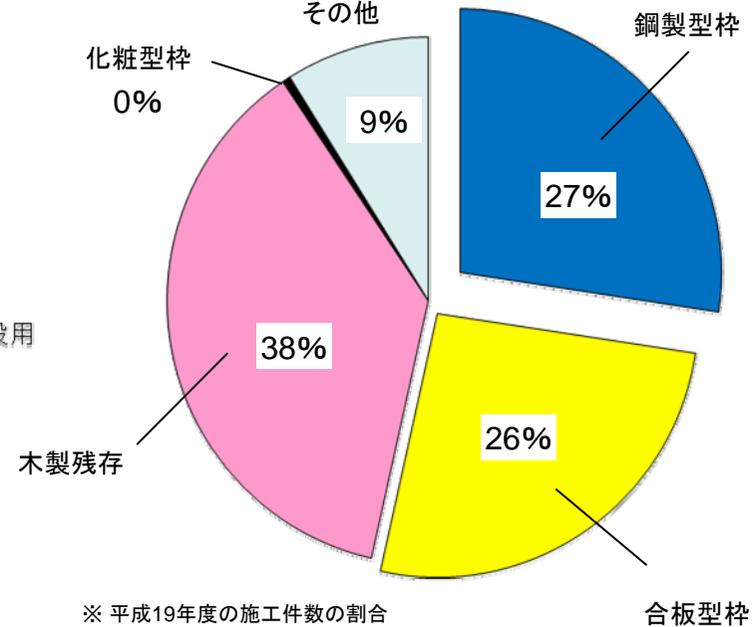
- コンクリート型枠の需要については、鋼製型枠等の非木質系型枠の動向も重要である。非木質系型枠の需要に係る統計は明らかでないが、森林土木の分野を一例としてみると、鋼製型枠は一定のシェアがある。
- また、合板型枠についても一定のシェアがあるが、そのほとんどが輸入合板である。
- 輸入型枠用合板と非木質系型枠の利用から、スギ等の国産材型枠用合板の利用を伸ばしていくことが課題。

■ 普通鋼鋼材の需要



※ 鋼製型枠(メタルフォーム)は、「その他建設用」の内数。
 その他建設用とは、建築金物、建築用付属資材(サッシ、シャッターなど)、仮設材(足場、鋼管、メタルフォーム(木等)など)をいう。
 出典: (社)日本鉄鋼連盟「受注統計」より作成

■ コンクリート治山ダムの例にみる型枠の種類別割合



※ 平成19年度の施工件数の割合
 出典: 林野庁「平成19年度治山工事施工実態分析調査報告書」
 (平成20年3月)より

スギ等の国産材の利用を更に推進